



NANBU

No. **97**

2026年
7月24日発行

議会だより

令和8年 6月定例会

令和8年度一般会計補正予算

総括質疑

4議員が町政を問う

町民懇談会

現地視察

第3回臨時会

行政視察

議員レポート



2914万6千円を追加

(総額53億7914万6千円)

主な歳出

- 林道維持工事費
(林道剣抜大銅線 成島側・福士側) 2460万円
- 栄保育所 改修工事費 158万円
- 栄保育所 クリーニング料 54万円
- 栄保育所 備品購入費 51万円
- 台帳修正業務委託料 80万円
- 調査委託料
(漏水調査:活性化センター・総合センター) 28万円

令和8年第2回定例会は、6月9日に開会し、報告1件、契約1件、発議1件を承認、一般会計補正予算1件を可決し、12日に閉会しました。

一般会計補正予算

補正額は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2914万6千円を追加し、予算総額は総額53億7914万6千円です。

主な使い道は、林道維持工事費(林道剣抜大銅線、成島側・福士側)、栄保育所改修工事費、栄保育所クリーニング料、栄保育所備品購入費、台帳修正業務委託料です。

(賛成・全員)

報告(第5号)

令和8年度繰越明許費繰越計算書

令和7年度中に事業が終わらず、令和8年度に繰り越した事業費について、地方自治法施行令第146条第2項の規定により次の通り報告がありました。
(賛成・全員)

事業名	金額(千円)
学校適正配置事業	39,500
ふるさと支援商品券事業	136,286
社会保障・税番号制度システム整備事業	2,057
中山間地域総合事業	3,750
町道佐野線電柱移転事業	900
物価高対応子育て応援手当及び給付金	1,450
合計	183,943

物品購入契約の締結

○契約の目的

南部町営バス購入

○契約の方法

指名競争入札

○契約の金額

750万8千280円

○契約の相手方

山梨県南巨摩郡南部町

内船4578番地1

新村モータース

(賛成・全員)

発議

●発議第2号

予算決算特別委員会の設置

客観的な視野と住民の立場に立って、令和7年度決算を審査するため、地方自治法第109条及び南部町議会委員会条例第6条の規定により予算決算特別委員会を設置するものである。
(賛成・全員)

総括質疑

繰越免許費繰越計算書令和7年度南部町一般会計予算について

問 ふるさと支援商品券の現在の使用率と使用枚数は。

産業振興課長

現在までの使用枚数が7万4854枚、使用金額は、7485万4千円です。内訳は、共通券が3万8907枚、ふるさと応援券が3万5947枚となっています。

物品購入契約の締結

問

町営バス購入における現状と、今後はどうなるのか。また、古いバスはどうするのか。

交通防災課長

町営バスの購入は、昨年度当初予算に陵草線バス購入費を計上しましたが、メーカー側でオーダーストップがかかり、注



文ができませんでした。今年度は注文ができたことで、今回の契約に至りました。

今回購入した陵草線バスの仕様は、乗車定員は14名で、現在運行しているバスと変わりません。既存のバスについては、下取りすること等新規購入費の一部に充てます。

現在、自動車を含めさまざまな部品の納品に関しては、数力月から1年以上かかる状況であり、今後、他の路線で使用しているバスの入れ替えを予定した場合も、注文後すぐ納品されるのが期待できない状況です。事業計画においては、繰り越し対応なども視野に入れながら進めていきます。

令和8年度南部町一般会計補正予算

問

補聴器の補助について、何人くらいの人を見込んでいるのか。また、最大の補助は、5万円以内なのか。

福祉保健課長

補聴器の購入費の助成金は、当初予算では、補助金額が、介護保険の低所得者の軽減第一段階から第三段階に該当するものが3台、第四段階に該当するものが3台と計上しました。

新年度になりすでに4名の方から、両耳分の申請があり、今回の補正予算で不足に備えて、それぞれ10台分の補正予算を計上しました。

町の補助金の最大の上限額は、第一段階から第三段階の人が5万円、第四段階に該当する人が3万2千円です。そのうちの二分の一が県の補助金の上限額となります。

問

補聴器の購入について、障害者総合支援法という国の制度があるが、これにプラスして町の補助が受けられるのか。また、65歳以上や70歳以上の難聴の方、障害者手帳を持たない方、非課税世帯でない方に補助は考えているのか。

福祉保健課長

補聴器の助成金の助成の対象者は、申請時において、町内に住所を有する者、事業を実施する年度に65歳以上となる者、耳鼻咽喉科の医師が補聴器の装用を認めた者、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく補装具の支援対象者でない者、これは、難聴の手帳を持っている人は対象外です。

南部町の介護保険条例の第2条、第1号から第4号のいずれかに該当し、軽減の第1段階から第4段階の人です。また、町税等を滞納していない者です。補助は、1回限りとなります。

基本的に補聴器は、医師の処方箋によって認定補聴器の専門店に在籍する認定補聴器技能者から購入する補聴器が対象となります。

原則、片耳となっていないが、医師が認めた場合は、両耳を対象とすることができ、これまでの4名の方は、両耳を装着する形で申請をしています。

町では、本制度による対象とならない方々への補助については、現在考えていません。



補聴器

問

林道維持工事の成島、福土地内の場所と工期は、

建設課長

成島は、十枚荘の別館から9・7キロ行ったところで、法面の防護工事です。福土は、奥山温泉から4キロ登ったところで、

モルタル吹付工事です。いずれも工期は、まだ決定していません。入札までには決定します。

問

活性化センターと総合センターの漏水について、現在、使用には何も支障がないのか。大規模な工事になると思うが、工事の見込みは。

生涯学習課長

活性化センターの漏水調査は、令和6年に大改修をしましたが、水道料のメーターが5倍に増加したことで調査を実施することになります。通常の使用については、今のところ問題なく使用できます。

総合センターは、令和3年に改修しましたが、水道料のメーターが3倍ほど認められたので、今回の調査に至りました。こちらも通常の使用には問題ありません。

今後の調査で、大規模改修工事等が発生する可能性もあります。調査の結果で、補正等の対応で処理をさせていただきます。

6月定例会現地視察報告

視察日 令和8年6月10日(水)
(定例会2日目)

○株式会社 nitttoh

長野県にある「株式会社 nitttoh」を視察させていただきました。

代表取締役社長・金子宗央様におかれましては、本町に長年にわたってご寄付を賜っており、議会としても、あらためて敬意を表すべく、視察を兼ねて訪問させていただきました。

最先端技術を用いた、レインズ加工を含む精密機器の開発部門を視察、工場での製造工程には、驚きの連続でありました。

あえて自社名を表に出さず、大手企業を裏方で支える経営戦略と、



株式会社 nitttoh

宇宙開発にまで広がる製品のシェアには、ただただ圧巻の思いでした。

何より、従業員のことを第一と考える金子社長のお人柄と、経営スタイルが、今日の会社の繁栄を物語っているように思われました。

また、SDGs推進への取組みとして、本町楢根地

区で栽培される、お茶の減農薬栽培や、地方創生の一環による農業雇用の創出、育林整備事業など、その企業姿勢は、中山間地にある本町にとって、大変参考とすべきものでした。今後の議会活動に役立てていきたいと思っています。





わかばやし りょういち
若林 良一 議員

問 町内の買い物弱者について

答

福祉サービス事業も 継続実施

問

買い物弱者支援について農林水産省の2020年推計によると、食品の購入に不便を感じる「買い物弱者（食品アクセス困難人口）」は全国で約940万人に上り、65歳以上では約4人に一人（26.6%）に達しています。

その背景には、高齢化の進行や小規模店舗の減少、移動手段の縮小があり、地方だけでなく都市部でも増加傾向です。

山梨県内においても、地域生活をささえてきた商店街の減少や公共交通の状況により、日常の買い物に不便を感じる住民が多いと考えられます。町内でも地域ごとに商店までの距離、家族の支援、公共交通の便、運転免許証の返還後の生活環境は異なり、実態を把握し、ニーズに応じたきめ細やかな対策を講じる必要があります。

高齢化が進む本町において、買い物弱者をどのように捉え、今後、どの様に支援策を進めて行くのか伺います。

福祉保健課長 令和8年4月現在、本町の住民基本台帳

上の総人口は6551人、65歳以上人口が、3070人。高齢化率は40.9%に達しています。また、65歳以上の一人暮らし高齢者が500人、65歳以上のみ構成される高齢者夫婦等世帯数は468世帯1001人となっています。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査や全国状況を踏まえると、本町でも買い物に不便を感じる割合は全国同様です。またはそれ以上になると推測しています。

一方、65歳以上人口は平成31年の3231人をピークに減少傾向にあり、人数としては横ばい、または少しずつ減少すると見込んでいます。

これまで福祉サービス事業として実施してきた福祉タクシー券補助事業、配食サービス事業・ちよつくりボランティア事業における買い物代行ならびに買い物同行支援といった、福祉サービス事業を今後も継続的に実施していくことを念頭に、今後の町の人口動態を見据えた柔軟な対応・見直しにより、さらに充実したものにしていけることが大変重要と考えています。

交通防災課長

買い物に困っている方々の移動手段として、町営バスを運行しています。路線は町内の商店・スーパーマーケット・診療所へのアクセスを考慮しているほか、JR内船駅や十島駅への接続も図っています。

また、高齢化による運転免許証の返納により、自分で運転できない方にとって、公共交通は重要な生活基盤でもあり、通院、買い物、鉄道利用をつなぐ移動手段として、町営バスを計画的に利用していただくことが現時点での基本となります。

一方で、町営バスの運行には車両維持費や燃料費など多額の経費がかかる中、利用者は減少傾向にあり、全国的な運転手不足も重なっているため、運行回数の増加や路線拡充は容易ではありません。

特に陸草線は補助対象外で利用者も少なく、持続的な運行が課題となっております。来年3月の



万沢地区での買い物支援風景

JR時刻改正に合わせ、陸草線のデマンド交通化に関する実証実験を計画し、運行体制や利便性を検証して今後の交通計画に役立てる予定です。

その他の路線は補助金を受けて運行をしているため、すぐにはデマンド交通化する計画はありませんが、現行運行を維持しつつ利用状況を注視し、利用しやすいと財政負担の両面を見ながら対応していきます。

また、デマンド実証実験では、予約方法や停留所・運行時間帯などを確認し、買い物や通院に使いやすい仕組みを探っていく、町民の貴重な移動手段である町営バスを維持可能な形で改善できるように調査研究を進めていきたいと考えています。

問

空き家対策の推進と解体補助金制度の創設を

答

解体に対する新たな補助制度を創設



たかはし しげひろ 議員
高橋 茂広

問

令和5年の調査で、町内の空き家が509件確認されたことを踏まえ、①法改正で新設された「管理不全空き家等」の運用と啓発の実績、②深刻な空き家への施策とその効果・課題、③「管理不全空き家等」と「特定空き家等」を対象とした、本町独自の解体補助制度の創設、の3点について伺います。

企画課長

①②については、固定資産税の納税通知書に制度案内チラシを同封し、空き家の利活用、解体および適正な管理を促しています。

③については、令和9年度を目途に、解体に対する新しい補助制度を創設したいと考えています。対象物件は、県内他市町村の状況を調査し、国県の補助制度の活用を踏まえ検討していきます。

再質問

「管理不全空き家等」や「特定空き家等」の認定には慎重な判断が必要だが、今後の対策をさらに前進させていくためには、判断基準の整備や専門家との連携体制を、あらかじめ整えておく必要があると考えます。

また、解体補助制度は年間10件程度を目安に、利用しやすい要件、分かりやす

い手続き、実効性のある補助率を備えた制度設計を求めますが、町の考えを伺います。

企画課長

来年度から運用ができるように、「南部町空き家対策会議」に建築士や弁護士等の専門家を加えた認定体制を整備していきます。

問

道の駅なんぶ併設の南部氏展示室の利活用は

答

訪問者を引き付ける仕組みや整備を検討

問

道の駅なんぶに併設された南部氏展示室や騎馬像は、奥州南部氏発祥の地としての歴史を伝える貴重な地域資源です。しかし現状では、十分に活用されているとは言えません。そこで本町の歴史と魅力を発信する拠点とするため、①展示室の利活用状況と今後の利活用について、②売店からの通路や観光情報室を快適な空間とする方策について、の2点について伺います。

生涯学習課長

①展示室の来訪者は少ない状況です。しかし、南部町が「奥州南部氏発祥の地」であるという事実を、町民をはじめ、全国の方々に認識していただ

「管理不全空き家等」、「不良空き家」を対象に検討していきます。また、木造住宅の解体費等を考慮し、できる限り使いやすい制度にしたいと考えています。

町長

他市町村では、制度はあっても使われていない例が多いです。「南部町は、一歩踏み込んだ補助制度をしっかりとやっています。これは、お約束します。」

くための大変重要な地域資源であると認識しています。今後は、「南部氏イコール南部町」を打ち出すため、施設への「南部氏」デザインの開示、騎馬像から展示室への動線整備、南部氏関連商品の開発など、多くの来訪者を引き付ける仕組みの整備を検討していきます。

また、指定管理者と管理課が、今まで以上に相互理解を深め、協力して積極的に新たな仕掛けを展開する



歴史を、まちの力に

よう、努めてまいります。町長 まずは、道の駅に表示看板を設置し、ここが「南部氏発祥の地」であるということを大いに知らしめたいと考えています。それを第一歩として、次の展開を図ってまいります。



解体を、後押しする制度へ



もちづき のりゆき
望月 憲之 議員

大規模災害発生時の トイレ災害備蓄品は

問

長期災害に対応できる 体制を構築

問

東日本大震災等の大規模災害が発生すると建物が増壊、トイレが使えなくなり、トイレパニックを引き起こします。

トイレの課題は、多くの健康被害と衛生環境の悪化をもたらします。避難生活におけるトイレの課題は今まで以上に強い問題意識を持つべきです。

各部署が連携し、事前に対応策を認識、災害時のトイレ確保や管理計画を作成し、防災訓練に反映させるなど生きた計画にすることが大事です。町では、携帯トイレや目隠し用テントの必要性を認識しているか、必要数を把握、どこに設置しているか。また、携帯トイレの訓練は行っているのか伺います。

交通防災課長

町の備蓄状況についてですが、大規模災害発生から公的な支援が本格化するまでの期間を想定し、発災後3日間の備蓄を第一次目標として整備しています。

具体的な備蓄品としては、トイレ処理キットを5400枚備蓄、災害により水道が停止した場合でも、洋式便器などに袋を被せて使用できるタイプで、しゃがむ姿勢が困難な高齢者の方々にも配慮した製品です。町の「公助」としての3日間の備蓄と、「共助」と

再質問

南部町地域防災計画

しての地域の備蓄、「自助」としての各家庭での備蓄を組み合わせることで、町全体として7日間以上の長期にわたる災害にも対応できる体制の構築を目指しています。携帯トイレの使用訓練は実施していませんが、その重要性は認識しており、各自主防災会へ防災訓練のメニューとして推奨していきたいと思っています。

問

園児・児童・生徒の避難訓練は

答

交通防災課と連携し、必要な防災教育を実施

問

文部科学省によると、小中学校の防災教育の実施率は99%以上で、ほぼ全ての学校で行われています。

石川県輪島市では、学校が休みのときの発災を想定した避難訓練を実施、タブレット等通信機器を使って安否情報を送るなど具体的な行動を確認し、家族や地域でも考えて備えることの大切さを学んでいます。このような取り組みは実践的であり、今後の取り組みとして有効な訓練だと思えますが、町の考えを伺います。

学校教育課長 南部町では、毎年5月に、同日・同時刻

交通防災課長

ブルーバシード確保のため、パーテーションや目隠し用テントを利用しながら授乳室や更衣室として活用します。防災訓練

面では、避難所における女性の参画を推進、女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所の運営に努めるとしています。具体的な取り組みについて伺います。また、指定避難所のトイレ環境について伺います。

を通じて意思決定の場合への女性の積極的な参画を促します。指定避難所のトイレ環境は、町が管理する指定避難所16施設のうち、14施設では洋式トイレを設置、2施設は和式トイレです。各地区の公民館等の26施設については現状把握していません。地区管理施設の改修は、生涯学習課の補助金制度を活用し、地区と連携し改善を支援します。

再質問

町内の学校において

に保育所、幼稚園、小中学校において地震災害が発生した想定で訓練を実施、その後、保護者に引き渡す訓練を実施しています。園児については、毎月、地震・火災・水害を想定した訓練を実施しており、有事の際の保育士の具体的な対応も確認しています。学校では、地域にあった最適と考える訓練を年に複数回実施しています。今後、他市町村の事例などを参考に、必要と思われる防災教育を実施していきたいと考えます。



地震発生！机の下に

学校教育課長 各学校では教育委員会を交え、台風など大雨が予測される場合の防災行動計画と各種災害や事案に対応する危機管理マニュアルを策定、毎年見直しを行っています。

て、防災マニュアルの作成と見直し、改善はどうかしているか。



一次産業政策と 労働力確保について



もちづき 小五郎 議員

答

就農者支援や機関連携 強化で担い手確保

問

町に再び活気と賑わいを取り戻すには、農産物生産や観光など町の強みを生かし、仕事を創出し人を呼び込むことが必要です。

人口減少と高齢化で農業やものづくり産業が衰退し、地域特有の強みを生かしていない状況です。

一次産業の再生・観光開発・労働力確保の取り組みについて町の考えを伺います。

産業振興課長

産業振興課長 厳しい状況が続いていますが、一次産業の発展に向けて具体的な施策を着実に進めています。

農業分野では、中山間事業で営農継続を支援し新規就農者相談や関係機関と連携し、担い手確保に取り組んでいます。

また、森林環境贈与税を活用し、林道整備などを進めています。個店の創出支援事業や商品開発促進事業を推進し、観光資源の価値向上、ふるさと納税返礼品充実によるPRを進めています。

労働力については、NPOや移住者など地域に根ざした担い手を支援し労働力確保につなげています。

再質問

再質問 回答の新規就農者への相談体制の充実や商品開発促進事業、観光資源の価値向上、新たな特産品の開発について、具体的な取り組みと、その成果を伺います。

産業振興課長

産業振興課長 新規就農者支援では、町内のトマト農家にに対し国・県と連携し、経営開始資金や定額補助を実施しています。

観光振興事業では、清流サウナトリートやトレイルハウスを利用したりモーターワークや研修を企画する

再々質問

事業を実施しました。また、特産品の開発では、秋作スイートコーンを栽培し、返礼品や道の駅の集客につなげています。

町

トしています。両団体との協力体制について伺います。

町長 我々が提言するのではなく、企画を出してきていただきたい。採用できれば大いに支援します。



旧富沢図書館解体について

問

旧富沢図書館解体計画に、町民の皆さんから残念との声を多く聞きました。令和3年の公募に参加した立場としても非常に残念です。

思い出の多い建築物であり、解体作業は慎重に行つてほしいと思います。

アスベスト診断の結果と今後の計画を伺います。

建設課長

建設課長 旧富沢図書館は、昭和16年に富沢町役場として建設されました。平成4年から図書館として利用してきましたが、耐震性と老朽化により、令和3年11月に現総合センターへと移転になりました。民間利活用を探りましたが実現せず、公共施設等管理計画に基づき、隣接する林業センターとともに解体を決定しました。

再質問

再質問 歴史ある建物の解体であり、残してほしいとの町民の皆さんの声を聞くと言葉がありません。跡地に建築物を建てられないのならなおさらです。アスベストの検査方法・検出数値・今後の既存建築物の診断と対策を伺います。

建設課長

建設課長 電子顕微鏡による
国際規格に基づいた検査を



町民の皆さまに親しまれた旧富沢図書館

実施、検出数値は軒天から5から50%と報告されています。

また、アスベストは平成18年9月に全面禁止になり、以後の建築物には含まれていません。今後也有資格者による分析調査と飛散防止処置を行い適切に事業を進めて参ります。

答
跡地は駐車場として整備を検討

第3回臨時会

令和8年第3回臨時会は、4月24日に開会され、専決処分に関する報告2件、条例改正1件、人事案件2件について原案どおり承認・可決し同日閉会した。

○報告

専決処分（2件）

●南部町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が令和8年3月31日に公布されたことに伴い、南部町税条例の一部を改正する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため。

（賛成・全員）

●南部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律が令和8年4月1日に一部施行され、及び地方税法施行令等の一部を改正する政令が令和8年3

月31日に公布されたこと等に伴い、南部町国民健康保険条例の一部を改正する必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がなかったため。

（賛成・全員）

○南部町職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定

国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令が令和8年4月1日に施行され、この規定と同様の内容を定めている本条例も、国家公務員との均衡の原則の観点から、同様の改正を行う必要が生じたため。

（賛成・全員）

○教育委員会委員の任命

●南部町塩沢2266番地

田村 勝彦

（賛成・全員）

○監査委員の選任

●南部町十島59番地1

田中 清一

（賛成・全員）

第36回南部町「たけのこまつり」

「今年は豊作！ たくさん たけのこが揃ってお客様に喜んでもらえるだろう」と安心した気持ちで4月12日(日)第36回「たけのこまつり」を迎えることができました。

昨年は裏年で、雨の中での開催でしたが、今年はお天候にも恵まれ、多くのお客様が会場に出店している店の前で楽しそうに買い物をしていました。

たけのこも新鮮で、美味しいものを買っていたらこうと、



朝採りたけのこ

今年から朝採りのたけのこを販売、開会前から多くの方が並んでたけのこを求めています。

会場ステージでは、町内外の団体が出演、お笑い芸人のやんこスターも登場し、お祭りを大いに盛り上げてくれました。

来年も、良い天気の中で、たけのこ祭りが開催できることを願っています。

自治功労者表彰式・町村議会議員研修会

5月22日、山梨県自治会館において、自治功労者表彰式及び、町村議会議員研修会が開催され、全議員で参加しました。

最初に行われた表彰式では、全国町村議会議長会より特別功労者として県副会長職を務めた、本町の木内秀樹議長が表彰されました。また、県町村議会議長会からは、副会長退任にあたり、感謝状が贈呈されました。

その後の研修会では、東京大学院法学政治研究科教授、

金井利之氏かねいとしゆきによる「なり手不足論と議会」をテーマに、講演を受けました。

議員のなり手不足がもたらす様々な弊害を再認識する一方、なり手不足問題は、地方議会に限った特有の現象ではなく、他の分野と同様、人口減少がもたらす社会全体の人口不足問題である、という観点には、益々考えさせられるものがありました。

そういった厳しい局面にあつて、議会には住民代表機能や、正統性と多様性を保つことが求められます。町民の皆さんが町政への関心、未来の町づくりの主體的に参画してもらえよう、働くことも、議員の重大な責務であると感じました。



功労者表彰

令和8年度第1回町民と議会との懇談会

参加者45人

(町民33人、議員10人、事務局2人)

令和8年5月21日(木)、午後7時30分より農村環境改善センター2階ホールにおいて、町民と議会との懇談会を開催しました。

この懇談会は、議会と町民の皆様が直接意見を交わし、行政や地域課題について共に考える大切な場として開催しております。

議会は議決機関として、町民の皆様の声や町政に反映させる責務があります。そのためにも、こうした対話の機会を重ねることが大変重要であります。そして、皆様からいただいた声を、今後の議会活動、更には町づくりに活かしていきます。

以下懇談会の質問や回答を抜粋して掲載します。

①令和7年度に実施した事業の概要と令和8年度予算の概要

●問 配布資料の予算総額が4月発行の議会だよりの予算総額と違うのは。

●答 配布資料の金額は、12月定例会での補正予算の金額であり、最新の金額は、議会だよりの金額で間違いありません。訂正し、お詫びいたします。

●問 令和8年度予算の説明で、議会だよりでは、大きな金額から掲載されているのに何故細かい項目で説明したのか。

●答 議会だよりの場合には、一番金額の大きいものから並べてあります。今回の説明の中には、本日の議題にありませんが、各組合議会の説明がありましたので、そちらは省いて、町に使われた予算を細かく説明させていただきます。

●問 町では、基金を取り崩しながら借金をしている。基金が92億円あるが、借金をするよりも今ある基金を使った方が良いのではないか。

●答 一般的に借金をする理由は、町民全体で使うからです。借金をするのは、今だけでなく後々の人の分も含めて借入れをしています。

●問 財政課の説明にも世代間の公平性を出すためだと書かれているが、次の世代が借金を負担することに納得できるような説明資料を残したほうがいいのでは。

●答 仰せの通りです。将来の子供たちには、何の借金もありません。議会としてもそのようなようにできればと思います。

②山梨西部広域環境組合による新たなごみ処理施設について

●問 南部町内には、環境センターや峡南衛生組合のごみ処理施設があるが、これらの機能を停止し、新施設へ集約するということがあるのか。

●答 はい、そうです。

●問 施設を一所所へまとめると、メリットがあるが、デメリットがあるが、そのことについて、議会や町の執行部では、議論を重ねた上で決められたのか。これまでの経緯を聞きたい。

●答 最初に執行部から説明があり、それを踏まえ南部町議会からいくつも質問をし、回答を聞き納得した上で

承認をしました。それは、おおよそ10年前です。

●問 総工費が563億7500万円と記載されているが、中東問題の影響で現在では記載額より多くなっているのではないかと。これから先、町への負担金が決まってくると思うが、どう考えているのか。

●答 予算については、国からの補助金がです。また、負担金については、各市町村の人口割で決定します。具体的な数字は、資料に掲載の通り10月にある議会で決まる予定です。

●意見 現在の世界情勢のなかで



議員からの説明

資材等が上がっています。国から補助金が出るからといって、元の算定額から値上がりした場合、各市町村がその金額に対応できるかどうか気がかりです。南部町もそれに対応できるかどうか、町の財政状況を見ながら、慎重に考えて進めていきたい。

③早川町・身延町・南部町医療事務組合の医療体制再編と持続可能な医療体制の確保について

●問 配布資料のタイトルは、懇談会の資料のタイトルの方が適していると思われるが。

●答 仰る通りです。次回には表現を変えて記載します。

●問 現在南部診療所職員は、役場職員と同等だが、待遇が変わることについてどう対処しているのか。

●答 診療所の職員に対しては、4月中に説明をしました。5月に個人的に質問のある方から質問を受け付けて回答し、6月に個人面談をして、6月、7月で内定を出すことになっています。

そして、一番心配なのは給与面ですが、減額補償というものがあるが、1年目は

100%で、現在の給与と同じ額を補償します。2年目は75%の補償、3年目は50%の補償となっています。

問 1年目は今と同じ金額ということだが、その%は、法人からの給与にプラスして確保されるということか。

答 その通りです。医療法人の給与は、国立病院の給与に準じて決められています。足りない分は各市町村で補う形になっています。

問 継続する職員については給与面では3年間町から補償されるが、処遇は公務員でなくなるので、退職金等も変わるかと思われる。職員の方々は納得されて、継続されるのか。

答 そこまでは分かりません。結果は7月にならないと分かりませんが、できれば各町でも全員継続していただきたいと願っています。医療法人側もそれを望んでいます。

問 7月頃に診療所で働いている職員の意向で配置が決まるということだが、医療法人で求めている職員の数は最終的に集まるのか。

答 そこまでは分かりません。

なるべく今いる職員の皆さまには全員残っていただきたいと思っています。足りなかった場合には、募集をかけるそうです。

意見 できるだけ地元から大勢の人が働いてくれる方が、一番助かります。そこで働く人がいなければ医療体制は整わないので、しっかりとお願いします。

④ 峡南広域行政組合による消防本部、情報センター等の統合と新庁舎整備、慈生園について

問 慈生園の入居者は何名いて、その全員がネオライフ富沢へ移れるのか。

答 現在の入所者は28名で、南部町民が21名、身延町民が7名です。その28名は、全員ネオライフ富沢へ、令和10年4月までには転居が可能です。

今回は、なかなか表に出ない各組合議会の現状と今後についてを議題にあげました。特にこれから事業が



熱心な参加者



懇談会QRコード

始まる山梨西部広域環境組合や3町の医療事務組合については、町民の皆様の関心の高さを感じました。今後、議会としても町民の皆様の見解を聞き、町や各組合議会との協議を重ねていきたいと思っています。

町村議長・副議長 全国研修会

5月26日、東京国際フォーラムにおいて、全国の町村議長、副議長が一堂に会し、全国研修会が開催されました。研修会では、一般財団法人地域活性化センター理事長、林崎理氏による「地方創生の先行き―地域未来戦略とともに―」、東海大学教養学部人間環境学科教授万城目正男氏による「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」、京都女子大学学長、竹安栄子氏による「男女共同参画で地域を元気に―人口減少社会を生き抜く方策―」をテーマに研修を受けました。

また竹安先生の講演内では、「町制施行69年の空白



全国研修会

を経て、女性議員の誕生・新しい風が吹く町へ」と題して、宮城県蔵王町議会3名の女性議員とパネラー形式により「女性模擬議会の取組み」が紹介されました。27日は会場を全国町村議員会館に移し、山梨県の主催で、政治ジャーナリストの後藤謙次氏による「後半国会と高市政権」をテーマに研修を受けました。

現地視察報告

視察日 令和8年5月22日(金)

○峡南広域行政組合本部

建設から50年以上が経過し
老朽化・耐震・機能面での対
策が必要となっていた消防本
部・北部消防署・情報センタ

に組合事務所を集約した複合
施設として建設が進められて
いた組合本部庁舎が、本年3
月に完成し、移転
しました。

本格運用が開始
された峡南広域行
政組合本部の内部・
最新防災機能・消
防設備などを視察
しました。

事務局より建設
の計画から完成ま
での経緯、2階建
て本部内の配置・
設備などの説明を
受けた後、実際に
一階の消防本部・
消防活動を担う北
部消防署・WEB
会議室・監視室・



完成した新庁舎

災害対策室・救急消毒室・男
女別の仮眠室・シャワー室・
体育室・救急車、消防車、指
揮車が配備されている車庫を
本部職員から詳細な説明を受
けました。

2階は、総務課事務室・厚
生支援課事務室・情報管理課
(7月完全移転)・大会議室が
配置されており、機能集約や



広々とした車庫

連携強化が図られていました。
視察して感じたことは、IT
機能を最大限に活用した防
災・消防設備を配備、職員の
動線が確保され、24時間の即
応体制が整っていました。
また、女性隊員の受け入れ
態勢など職場環境にも細部に
わたって配慮がされていまし
た。

新庁舎が峡南地域の拠点施
設として地域の皆様の負託に
応え、その機能が十分に発揮
されることを期待し視察報告
とします。

議会の動き

4月

- 24日(金)・議会運営委員会
- 第3回臨時会
- 第6回行政視察研修委員会
- 6月定例会日程調整会議
- 28日(火)・富士川町議会新正副議長
来庁

5月

- 12日(火)・第1回町村議会議長会議
- 13日(水)・議会報告企画会議
- 中部横断自動車道建設促
進連絡協議会会計監査
- 14日(木)・第1回町村議会運営委員
長会議
- 19日(火)・県議会議員連盟臨時総会
(社会資本整備促進)
- 20日(水)・例月現金出納検査
- 21日(木)・令和8年度第1回町民と
議会との懇談会
- 22日(金)・自治功労者表彰式・町村
議会議員研修会
- 26日(火)・町村議会議長・副議長全
国研修会(27日まで)
- 27日(水)・国道469号建設促進
期成同盟会通常総会
- ・アクティブチャレンジ

6月

- 29日(金)・議会運営委員会
- 4日(木)・町村監査委員協議会総会・
研修会
- 9日(火)・第2回定例会1日目(開会)
- ・第1回広報編集会議
- 10日(水)・第2回定例会2日目
(現地視察)

7月

- 第7回行政視察研修委員
会(報告会)
- 11日(木)・社会福祉協議会評議員会
- 12日(金)・第2回定例会3日目(閉会)
- ・あじさいまつり開会式(中止)
- 22日(月)・例月出納検査
- ・第1回峡南広域行政組合
臨時会
- 23日(火)・行政視察研修
24日(長野県小布施町)
- 26日(金)・第2回広報編集会議
- 30日(火)・第1回南部町町営バス運
営協議会
- ・火祭り実行委員会
- 1日(水)・国中6町議事前打合せ
会議(身延町)
- 3日(金)・第3回広報編集会議
- 8日(水)・国中6町議会議員研修会
(身延町)
- 10日(金)・県町村議会議長会・広報
委員研修会
- 13日(月)・第4回広報編集会議
- ・中北・峡南地区議会議長
会(荏崎市)
- 15日(水)・なんぶ光ネット運営委員会
- 17日(金)・第5回広報編集会議
- 22日(水)・議会改革特別委員会

○議会傍聴のご案内

次の定例会は9月です。
議場入口で受付をしていた
だければ、だれでも傍聴でき
ます。詳細は議会事務局へお
問い合わせください。

☎ 64-3415

第22回南部町「あじさい祭り」

内船公園で開催された第22回南部町「あじさい祭り」は、6月12日に予定された開会式が悪天候のため中止になりましたが、その後は21日まで町内外から多くの来場者が訪れ、園内を探索していました。

南部町あじさい祭りは、初夏を彩る恒例行事として親しまれており、町の魅力を発信する貴重な機会となっています。

園内には約90種類、3万株のあじさいが植えられており、青や紫、ピンクなど色鮮やかな花々が咲き誇り、訪れた人々の目を楽しませていました。

また、会場から富士川や周辺の山々を一望することができ、美しい自然環境とともにあじさいを満喫できることも魅力の一つとなっています。



あじさい祭り受け

期間中は、来場者が撮影や散策を楽しんだり、お弁当を広げたり、それぞれ思い思いの時間を過ごしていました。

この美しい景観は、公園の整備や花々の管理に日頃から携わる地域住民やボランティアの皆さんのご尽力によって支えられています。

来年も、南部町ならではの季節の移ろいを感じることができ、あじさい祭りが、多くの人で賑わうことを願っています。

峡南広域行政組合議会報告

令和8年第1回臨時会は、6月22日に開会され、以下の案件を原案どおり可決・承認し同日閉会した。

○報告

令和7年度繰越明許費繰越計算書

○承認

専決処分

●令和8年度一般会計補正予算
補正額は、55万円を追加し
予算総額を18億9840万8千円とする。

○令和8年度一般会計補正予算
補正額は、193万8千円を追加し、予算総額を19億34万6千円とする。

○高規格救急自動車の売買契約締結の件

●契約の目的
高規格救急自動車の購入

●契約の方法
事後審査型条件付き一般競争入札

●契約の金額
3343万1612円

●契約の相手方
甲斐日産自動車株式会社

国中6町議会議員研修会

7月8日(水)17時より国中6町の研修会が、下部ホテルで開催されました。

今年は、身延町議会の担当で進められ、長崎知事の『国中6町の発展に向けて』と題しての講演から始まりました。

県内で働く労働者は非常に低賃金であるという課題があります。

結婚し子供を育てるには、夫婦で年間500万円以上の収入が必要であり、今の社会においては困難な状況にあります。そのため平均賃金が上がれば少子化の克服にも繋がります。

また、地域を支えている「地域おこし協力隊員」に、峡南地域では9人が採用されており、活性化に貢献しています。このことから

も県では、隊員の増加・定着率向上に向け、強力に支援すると述べ、

各町の「文化的テロワール」

「自らの町はこんなに素晴らしいところがあるPR」を県でも支援するとして講演を閉じました。

続いての各町の意見交換交流では、人口減少と少子化という悲壮的な問題は、各町共通している」と再認識しました。

情報交換を引き続き継続することで意思統一し、閉会しました。

令和8年度 国中6町議会議員研修会

研修会に参加した議員たちの写真。



行政視察研修報告

令和8年6月23日～24日、長野県小布施町に研修に行つてまいりました。

小布施町は、長野県の北東に位置し、同県内で最も面積の小さい自治体で、人口は、約1万1000人です。また、小布施町は、「栗と北斎と花のまち」として知られる魅力的な観光地です。

町は、歴史的な街並みが美しく整備されており、散策をしながら地域の文化やグルメを存分に楽しむことができます。

今回は、「行政と住民の協働によるまちづくり」をテーマに研修をしました。

担当職員から小布施町の現状やまちづくりの歴史から始まり北斎館などの美術館や菓子店の活躍、花のまちづくり、次に町民、大学・研究機関、企業との協働、そして、今後の小布施町の説明がありました。

議員からは、事前の質問事項として住民との協働のまちづくりのきっかけ、行政の役

割とその仕組み、まちづくりの過程での失敗や課題等、また、移住定住施策や空き家対策事業について質問が出されていましたが、その一つ一つに丁寧な回答・説明をしていただきました。

なかでも町民との協働では、まちづくり委員会を中心に各種プロジェクトで活発に議論し、町民の声や議論の成果を行政の施策に生かしています。あまり行政は深入りせず、町民主体で行動していることにとても感動しました。

町民との関わりの方をつくり、そこから町民の力をいかに引き出すか。改めて町民の力が大事なことを学びました。意見交換の後、職員により

一時間程説明を聞きながら町を散策しました。

特にオーブンガーデンは、



研修風景



小布施町内散策風景

個人のお宅やお店の見事な庭園を一般に公開する取り組みを全国に先がけて行っています。「welcome」の看板があるお庭は、自由に散策でき、町の人との温かい交流が生まれます。古い街並みとよくマッチングしていました。

協働とは、同じ目的を達成するために、立場の異なる者同士が対等な立場で集まり、それぞれの特性や専門性を生かして協力しあうことです。

今後、私たちは町のあらゆる分野に顔を出し多くの町民の意見を聞き、協働を活かした取り組みをしていきたいと思っています。

最後にお互いの町の未来に向けて引き続き情報交換を願い、研修を終わりました。

議員レポート

文化財を守る

真篠集落の本年度における環境整備は、真篠城の北側に位置する駐車場を整備しました。

コンクリートの駐車場にすることで、草刈の労力や、見学に訪れる人が増える一助となればと願っています。

平成12年3月に県の指定史跡になり、当時の山城・砦の姿をそのまま残した他に類を見ない遺構として、多くの城ファンが訪れていましたが、月日の経過とともに自然環境の変化や整備不足により、その魅力である堀切や畝状堅堀群などもその姿を変えようとしています。整備も持続できなければ数年で元に戻ってしまいます。

昔から、遺跡はその価値を多くの人に知ってもらうために発掘されたまま見学できるように整備することが望ましいといわれていますが、文化財保護員・学芸委員の皆様



真篠道祖神

の活動を引き継いでいけるような人材育成が何より大切ではないでしょうか。

町にある多くの文化財を教育や観光資源として活かしていくためにも文化遺産の継承は、今以上に力を入れて取り組むべき課題ではないでしょうか。

追伸 真篠城の南側を通る駿州往還は、身延山参りなどで多くの人々が行きかっていたと伝わっています。

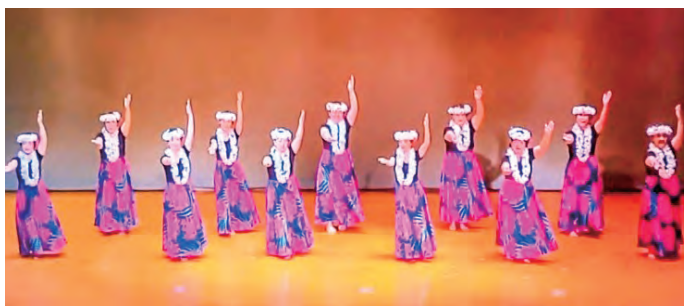
その旅の安全を願って祀られていた道祖神が、倒れた老木の直撃を受け、倒壊してしまいました。集落における話し合いの結果、場所を変え新たな祠を築くことになり、過日真篠公民館入口の広場脇に遷座して頂きました。真篠にお越しの折にはお参りしていただければ幸いです。

望月小五郎

○ フラダンスの魅力

フラダンスは、ハワイの伝統文化として受け継がれてきた踊りです。一つひとつの手の動きに具体的な意味があり、言葉を話すように表現します。

ゆったり美しい音楽に合わせて優雅に体を動かし、歌詞に込められたポジティブなメッセージを表現するため、リラクゼーションや心身の健康づくりを楽しむことができます。



○ 活動内容

当サークルでは、初心者の方から経験者の方まで、年齢を問わず和やかな雰囲気の中で活動し、仲間との交流を深めながら楽しく学んでいます。

フラダンスの衣装やメイクで非日常が体験できるだけでなく、「たけのこまつり」や「町民文化祭」など町のイベントで皆さんに踊りをご披露したり、町外のイベントでは他のフラサークルの方との交流をしたり、フラダンスを通じて人生のワクワク・ドキドキ時間を謳歌しています。

○ 練習日と会員の募集

日時：毎週木曜日 19:30~21:00

場所：南部町役場 分庁舎2階

対象：年齢・経験不問 (どなたでも参加できます)



○ 見学・体験也大歓迎です。

フラダンスに興味のある方は上記活動日にいらしていただくか、☎080-2667-8922 遠藤まで連絡下さい。皆様のご参加・ご加入を心からお待ちしております。

※シリーズ**こんにちは!**に掲載団体を募集しています。議会事務局 (☎66-3415) までご連絡下さい。お待ちしております。

町民の広場

素敵な出会いに感謝して 残りの人生も楽しく！

鈴木 和子
(南部区)

「まったく、最近の若者は……
なんて可愛いんだろう」
今の職場の若者は胸がキュンとするほど愛らしい、そして尊敬できる仲間もたくさんいる。

縁あって南部町に嫁いで38年、30年近くは子育てと家庭のことで手いっぱいでした。子育てが一段落してから思い切ってはじめて仕事先で、こんなに素敵な出会いがあったことに驚いています。

子育ての傍ら、20年以上にわたり町の読み聞かせボランティアを続けてきました。そこでも本当に素晴らしい仲間たちに恵まれ、ともに活動できたことを嬉しく思っています。

そのご縁から、現在の職場の支配人より、月に一度お越しになるお子さん向けの読み聞かせを任せていただけるようになりました。これがまた、



子供達に読み聞かせをしている鈴木さん

本当に楽しい時間です。

また、19年間の里親としての活動を通して、保護者の方々と先生方とも出会うことができました。大変なこともありましたが、今振り返れば、そのすべてが学びだったと感じています。

8年まえからは、月に1〜3回、町のデイサービスで入浴介助のお手伝いをしていきます。ここでもまた、楽しくて大好きな仲間たちに恵まれています。

2年半ほど前には、少し辛い時期がありました。そんなとき、デイサービスの利用者さんからいただいた「ありがとう」という言葉と笑顔が、

トゲトゲしていた私の心を温かく包み込み、スーッと晴らしてくれました。

その瞬間、「こちらこそ、ありがとう」という感謝の気持ちになり、救われました。生きていけば、つらい出来事に出会うこともありますよね。しかし、それは人の温かさにより深く感じられるようになるための、尊い経験なのかもしれないと感じました。

今回、「町民の広場」への原稿依頼をいただいたとき、「なぜ私に？」と不思議に思いました。

実は6年前、中学校PTA会長としての挨拶が心に残っていた、という方からのご依頼でした。そんな昔のことを覚えていてくださったことが大変ありがたく、光栄に思いました。

卒業式では「誕生学」をテーマに、入学式では「アンパンマンワールド」を例に『リフレミング』（物事の見方を変えること）について、緊張しながらお話ししたことも良い思い出です。

PTAとともに楽しく活動した6人の役員は、全員が女

性でした。今もこの南部町で元気に過ごされていることと思います。

人生のどこで、どんな出会いや役割が待っているかは分かりません。これからも、一つひとつの出会いを大切に、感謝の気持ちを忘れず、この南部町で、笑顔あふれる毎日を過ごしていきたいと思っています。

町民の声（南部町議会の取り組み）

町政・議員活動・議会運営に町民の皆さんの声を反映させるため、建設的なご意見や、議会だよりへの感想、取り上げてほしい内容を聞かせてください。右記QRコードからお願いします。

議会・町政に関する町民の皆様の声をお聞かせください。

（議会だよりの感想やご意見でも結構です。）

議会事務局 FAX 66-2190



編集後記

▼町民の皆さん！「NANBU U議会だより」読んでいただいていますか。既読されている中でのご意見とアドバイスを参考にし、感謝の気持ちを大切にNo.97号を発行しました。私たちは町民・納税者の立場から、高齢者問題・生活困窮・住環境・町内の大切な自然遺産や教育問題・交通問題そして、世界的な人口減少の中で、言うまでもなく現存する公共施設を生かして、私たちだけでなく皆さんの声も活かし、共に町の人口減少対策を考えて行きたいと思っています。

そういう中で6月議会も4人の議員が一般質問に立っています。

それは、議員の独り善がりや理想論ではなく、町民、納税者の声を大切にし『南部町』を大切にしたいからです。感想をお待ちします。

（広報広聴常任委員会・編集発行係）

委員長 小泉昇一
副委員長 若林良一
委員 望月憲之
仲 泉 昇 一
望 月 良 一
芦 澤 潤 一郎